

令和5年度盛岡市玉山地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域の転作作物に占める割合は、畜産が盛んな地域であることから飼料作物、飼料用米の作付けが多くを占める。特に飼料用米については、J A新しいわてが養鶏や肉用牛生産業者等の買い付け業者を確保しており、買い付け業者から飼料用米増産の要望もあって、今後も需要が見込まれていることから、当地域において更に飼料用米の作付けの推進を図っていく方針としている。

しかし、地域の農業経営の現状は、担い手の減少・生産者の高齢化が進行しており、不作付地や耕作放棄地が増加し、農地環境に影響を及ぼし始めている。

このため、水田を最大に活用して需要に応じた生産拡大を推進する観点から、他作物への作付転換や、調整水田等の不作付地や耕作放棄地の利活用の促進、農地集積・集約による農業経営の効率化を図り、水田の有効活用を図っていく必要がある。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

畜産が盛んな地域であること、買い付け業者からの増産要望により、需要が高い飼料作物と飼料用米については、産地交付金の耕畜連携や二毛作助成により優先的に支援を継続していくことが必要である。また、盛岡市においては、都市部と農村地帯が近く、生産者と消費者が親密な交流ができるという特徴を生かした、食と農バリューアップ推進戦略に取り組んでおり、盛岡産農産物のブランド化や地産地消をめざしていることから、行者ニンニクや黒平豆など、地域の特徴的な作物の生産を高め、これらの作物のブランド化と付加価値の向上に繋げていく。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

米の需要が年々減少する中、生産者及び地域農業においては、需要に応じた米生産並びに畑地化を含めた高収益作物への作付転換など、今後の農地の効率的な利用と所得の向上に向けた取り組み方針の見極めが必要である。地域農業マスタープランの実践においては、各地域における将来の農地の効率的な利用方針について話し合いが進められるものであり、地域農業を担う中心経営体も含めた話し合いの中で、今後の農地集積等による農地の効率的利用と水田の有効利用について検討していくこととし、より生産性を高めていくため、ブロックローテーション体系の構築や畑地化を含めた今後の水田の有効利用に向けた具体的な取り組みについての検討を推進する。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

生産数量目標に沿った需要に応じた作付面積を確保するとともに、需要が高まる岩手県オリジナル水稻品種「銀河のしずく」の作付け拡大により、売れる米づくりを推進する。

(2) 備蓄米

今後も関係機関と連携し需要に応じて対応していく。

(3) 非主食用米

ア 飼料用米養鶏

当地域においては、養鶏・畜産業者等からの飼料用米に対する需要が高いことから、主食用米の需要の減少が見込まれる中、飼料用米を転作作物の中心作物の一つに位置づけ、産地交付金を活用した担い手へ集積・団地化の取組、多収品種による栽培を推進し、需要に応じた安定的な供給に向け、生産拡大を展開する。また、産地交付金を活用して耕畜連携（稲わら利用等）を推進することにより、生産コストの低減・農業所得の増加につなげる。

イ 米粉用米

取組なし。今後も想定していない。

ウ 新市場開拓用米

現時点で取り組み予定はないが、需要の把握に努め、取組方法を模索する。

エ WCS 用稲

主食用米の需要の減少が見込まれる中、水田の機能を維持して生産調整に取り組めるメリットを生かし、生産の拡大を目指す。耕畜連携（資源循環）を推進し、生産性向上、低コスト化につなげる。

オ 加工用米

取組なし。今後も想定していない。

(4) 麦、大豆、飼料作物

(麦、大豆)

産地交付金を活用した担い手への利用集積や団地化を推進し、作業効率の向上を図り、生産の拡大を目指す。なお、黒平大豆については、需要者が求める高品質な生産・出荷に向け、一等級比率の向上を目指す。

(飼料作物)

耕畜連携（水田放牧・資源循環）の拡大を図るとともに産地交付金を活用して担い手への利用集積や団地化を推進し、良質な飼料生産の拡大を目指す。二毛作の取組を推進し、農地の有効活用による土地生産性向上等、低コスト化につなげる。

(5) そば、なたね

(そば)

産地交付金を活用し、地域の実需者との契約に基づき、現行の作付面積を維持しながら湿害対策の取組により品質・単収の向上を図る。二毛作の取組を推進し、農地の有効活用による土地生産性向上等、低コスト化につなげる。

(なたね)

取組なし。今後も想定していない。

(6) 地力増進作物

今後、取組方法を模索する。

(7) 高収益作物

(野菜)

未成熟とうもろこしは、地域振興作物に位置付け、産地交付金を活用し、作付面積の拡大を図る。また、産地交付金を活用し、高収益作物の導入を推進する。

(花き)

りんどうは、地域振興作物に位置付け、玉山地域をりんどうの一大産地とするために、産地交付金を活用し、栽培面積の拡大を図る。りんどう以外の花きは、産地交付金を活用し、現行の栽培面積を維持する。

(果樹)

需要が高いが高齢化等人手不足となっており、産地交付金を活用することにより推進し、現行の栽培面積を拡大する。

(雑穀)

玉山地域の多様な食文化を支えるために、産地交付金を活用し、現行の作付面積を拡大する

(その他作物)

産地交付金を活用し、農作物を広く振興することで、農業者がそれぞれの農地の特性に合わせた作物を選択し作付することを図るとともに、農業・農村の所得増加につなげる。

5 作物ごとの作付予定面積等

～

7 産地交付金の活用方法の概要

別紙のとおり

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の 作付予定面積等		令和5年度の 作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	864.00		830.00		830.00	
飼料用米	334.40		300.40		300.40	
米粉用米	0		0		0	
新市場開拓用米	0		0		0	
WCS用稲	14.00		14.00		14.00	
加工用米	0		0		0	
麦	21.00		9.00		9.00	
大豆	70.00	4.80	46.00	4.80	46.00	4.80
飼料作物	265.00	6.00	171.00	6.00	171.00	6.00
・子実用とうもろこし						
そば	10.50	4.00	8.50	4.00	8.50	4.00
なたね	0		0		0	
地力増進作物	0		0		0	
高収益作物	29.10		22.10		22.10	
・野菜	25.00		18.00		18.00	
未成熟とうもろこし	5.00		5.00		5.00	
上記以外	20.00		13.00		13.00	
・花き・花木	3.00		3.00		3.00	
りんどう	1.00		1.00		1.00	
上記以外	2.00		2.00		2.00	
・果樹	0		0		0	
・その他の高収益作物	1.10		1.10		1.10	
その他						
・〇〇						
畑地化			139.00		139.00	

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	小麦、大豆、飼料作物、 飼料用米、WCS用稲	担い手利用集積助成	集積面積 1時間あたりの 作業面積 10a当たり収量	（令和4年度） 470.40ha 麦：2,007㎡/1時間 大豆：1,001㎡/1時間 飼料作物：6,641㎡/1時間 飼料用米：2,999㎡/1時間 WC：1,954㎡/1時間 麦：231.02kg/10a 大豆：101.06kg/10a	（令和5年度） 412.00ha 麦：1,944㎡/1時間 大豆：1,081㎡/1時間 飼料作物：6,265㎡/1時間 飼料用米：3,060㎡/1時間 WCS：3,060㎡/1時間 麦：232kg/10a 大豆：300kg/10a
2	飼料用米の生産ほ場の 稲わら	稲わら利用助成 （耕畜連携）	取組面積 取組割合（取組面 積/対象作物面積）	（令和4年度） 158.690ha 45.86%	（令和5年度） 209.22ha 71.00%
3	飼料作物	水田放牧助成 （耕畜連携）	取組面積 取組割合（取組面 積/対象作物面積）	（令和4年度） 0.78ha 0.30%	（令和5年度） 1.75ha 0.61%
4	粗飼料作物等	資源循環助成 （耕畜連携）	取組面積 取組割合（取組面 積/対象作物面積）	（令和4年度） 2.17ha 19.02%	（令和5年度） 9.00ha 5.32%
5	飼料用えん麦、そば、 大豆、小麦	二毛作助成 （二毛作）	取組面積 取組割合（二毛作 面積/対象作物基 幹作面積）	（令和4年度） 3.58ha 1.76%	（令和5年度） 20.00ha 1.76%
6	りんどう、未成熟とうもろ こし	地域振興作物助成A	作付面積	（令和4年度） 4.92ha	（令和5年度） 8.10ha
7	地域振興作物	地域振興作物助成B	作付面積	（令和4年度） 11.12ha	（令和5年度） 12.00ha
8	黒平大豆	黒平大豆振興助成	作付面積	（令和4年度） 5.82ha	（令和5年度） 12.00ha
9	飼料用米	【県推進メニュー】 飼料用米団地化加算 助成	団地化面積 労働時間の縮減	（令和4年度） 82.27ha ▲0.37h/10a	（令和5年度） 92.27ha ▲0.39h/10a
10	大豆	【県推進メニュー】 大豆作付拡大助成	作付拡大面積 10a当たり収量 （当該メニュー取 組者分）	（令和4年度） 4.92ha 157.88kg/10a	（令和5年度） 14.34ha 242.00kg/10a
11	そば	そば振興助成	作付面積	（令和4年度） 7.17ha	（令和5年度） 6.89ha
12	地力増進作物	地力増進作物作付助 成	作付面積	（令和4年度）	（令和5年度） 1.00ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：岩手県

協議会名：盛岡市玉山地域農業再生協議会

整理 番号	使 途 ※1	作 期 等 ※2	単 価 (円/10a)	対 象 作 物 ※3	取 組 要 件 等 ※4
1	担い手利用集積助成	1	2,000	小麦、大豆、飼料作物(別表2のとおり)、飼料用米、WCS用稲	担い手である農業者又は営農組織の利用集積に対して支援
2	稲わら利用助成(耕畜連携)	3	10,000	飼料用米の生産ほ場の稲わら	作付面積に応じて支援
3	水田放牧助成(耕畜連携)	3	10,000	飼料作物(別表2のとおり)	作付面積に応じて支援
4	資源循環助成(耕畜連携)	3	10,000	粗飼料作物等(別表3のとおり)	作付面積に応じて支援
5	二毛作助成(二毛作)	2	10,000	飼料用えん麦、そば、大豆、小麦	作付面積に応じて支援
6	地域振興作物助成A	1	12,000	りんどう、未成熟とうもろこし	作付面積に応じて支援
7	地域振興作物助成B	1	6,000	地域振興作物(別紙2のとおり)	作付面積に応じて支援
8	黒平大豆振興助成	1	40,000	黒平大豆	作付面積に応じて支援
9	【県推進メニュー】 飼料用米団地化加算助成	1	8,000	飼料用米	団地化面積に応じて支援
10	【県推進メニュー】 大豆作付拡大助成	1	3,000	大豆	作付拡大した面積に応じて支援
11	そば振興助成	1	20,000	そば	作付面積に応じて支援
12	地力増進作物振興助成	1	20,000	地力増進作物	作付面積に応じて支援

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

(別表2) 飼料作物の範囲

イタリアンライグラス
オーチャードグラス
ギニアグラス
シバ
スミーズブロムグラス
チモシー
トールフェスク
ハイブリッドライグラス
バヒアグラス
ペレニアルライグラス
メドウフェスク
スーダングラス
ローズグラス
ケンタッキーブルーグラス
リードキャナリー
クローバー
アルファルファ
エンバク
ソルガム
青刈りとうもろこし
青刈り稲
WCS用稲
飼料用ひえ

(注) 上記の飼料作物については、食用に供されるために飼養される牛に供される場合に限る。 (注) 個票No.1の場合、WCS用稲を除く。
(注) 個票No.3の場合、青刈りとうもろこし・青刈り稲・WCS用稲を除く。

(別表3)粗飼料作物等の範囲

イタリアンライグラス
オーチャードグラス
ギニアグラス
シバ
スミーズブロムグラス
チモシー
トールフェスク
ハイブリッドライグラス
バヒアグラス
ペレニアルライグラス
メドウフェスク
スーダングラス
ローズグラス
ケンタッキーブルーグラス
リードキャナリー
クローバー
アルファルファ
エンバク
ソルガム
青刈りとうもろこし
青刈り稲
WCS用稲
飼料用ひえ

(注) 上記の粗飼料作物等については、食用に供されるために飼養される牛、馬、山羊に供される場合に限る。

区分	作物名	区分	作物名	
野菜	きゅうり	野菜	せり	
	トマト(生食用)		クレソン	
	ピーマン		しそ	
	なす		にら	
	いちご		みょうが	
	ほうれんそう		食用菊	
	だいこん		かぶ	
	さやえんどう		そらまめ	
	ブロッコリー		わらび	
	アスパラガス		うど	
	さといも		うるい	
	ながいも		たらの芽	
	レタス		行者ニンニク	
	はくさい	果樹	ブルーベリー	
	かぼちゃ		りんご	
	すいか		ぶどう	
	メロン		くり	
	小松菜	花き	トルコギキョウ	
	れんこん		ゆり	
	さやいんげん		輪ぎく	
	かんしょ		小菊	
	しいたけ		ギガンチウム	
	オクラ		ハス	
	カリフラワー		グラジオラス	
	しゅんぎく	雑穀	きび (いなきびを含む)	
	まこもだけ		ひえ	
	夕顔		あわ	
		その他作物	小豆	
			ほうき草	
			葉たばこ	
			ホップ	
			ごま	
			エゴマ	
			薬用作物	トウキ
				センキュウ
				キッソウコン
				トリカブト
				シャクヤク
				カノコソウ

別紙6

助成対象作物一覧

区分	作物名
地力増進作物	ソルガム
	スーダングラス
	イタリアンライグラス
	ライ麦
	エン麦
	アカクローバ
	シロクローバ
	アルサイククローバ
	クリムソンクローバ
	オーチャードグラス
	レンゲ